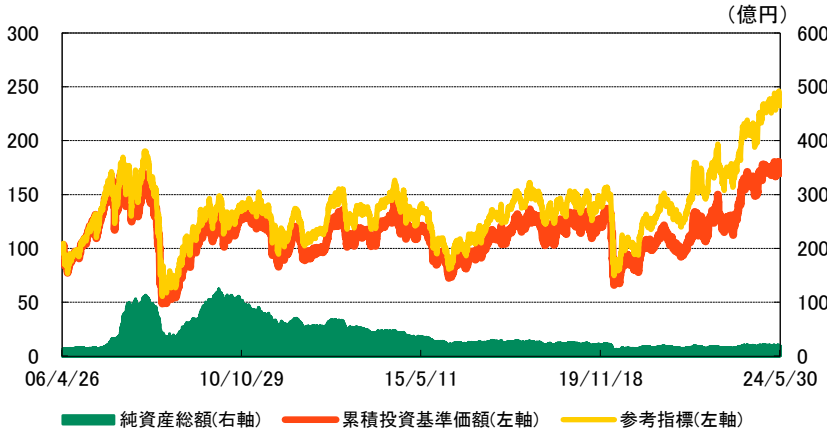


ブラックロック・ラテンアメリカ株式ファンド

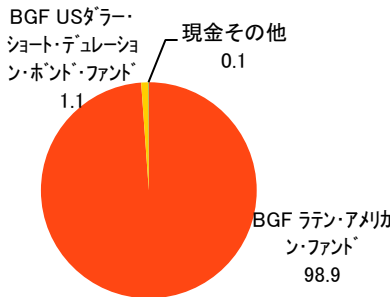
追加型投信／海外／株式

累積投資基準価額および純資産総額の推移



※累積投資基準価額と参考指標は設定時を100とした指数値を使用しています。
※累積投資基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬等については、後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
※累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
※参考指標はMSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)です。

資産構成比率 (%)



※比率は対純資産総額。四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

ファンドのパフォーマンス (%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
基準価額	-3.90	-2.75	-0.21	19.00	51.35	42.60	70.02
参考指標	-4.44	-1.33	4.82	24.74	64.61	65.43	132.35
BGF ラテン・アメリカン・ファンド(US\$)	-3.68	-6.05	-5.45	8.50	13.30	10.86	84.22
米ドル円	-0.10	4.03	6.58	12.14	42.80	43.32	36.45

※ 基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして算出した累積投資基準価額により計算しています。
※ 参考指標はMSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)です。
※ BGF ラテン・アメリカン・ファンドの騰落率は、米ドルベースの一口当たり純資産価格で計算しています。
※ 米ドル円の騰落率は、三菱UFJ銀行が発表する公示仲値を使用しています。

ファンドデータ

基準価額	12,798 円
純資産総額	19.11 億円
ファンド設定日	2006年4月26日

収益分配金

分配金累計額	3,500円	
第31期	2021年10月1日	0円
第32期	2022年4月1日	0円
第33期	2022年10月3日	0円
第34期	2023年4月3日	0円
第35期	2023年10月2日	0円
第36期	2024年4月1日	0円

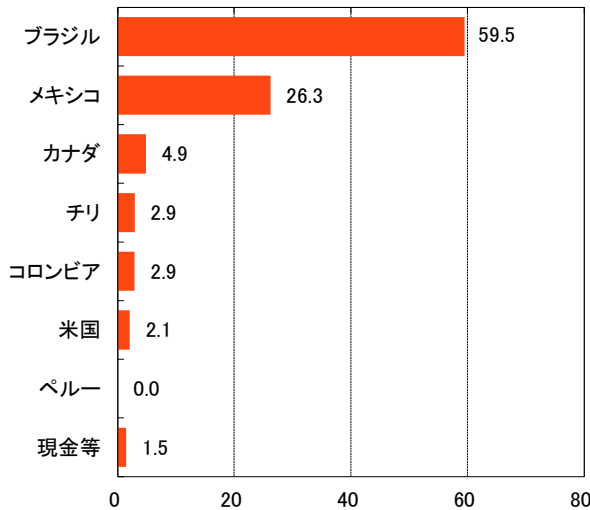
参考指標について

2022年6月29日に、当ファンドの主要投資対象ファンドである「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」のベンチマークが「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス」に変更されたことに伴い、当ファンドの参考指標を「MSCI EM ラテン・アメリカ・インデックス(円換算ベース)」より「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)」に変更しました。このため、本資料中の参考指標のデータは、設定時から2022年6月28日までの期間は「MSCI EM ラテン・アメリカ・インデックス(円換算ベース)」の指数値に基づき、2022年6月29日以降については「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)」の指数値に基づき記載しております。「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス」および「MSCI EMラテン・アメリカ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発、計算した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

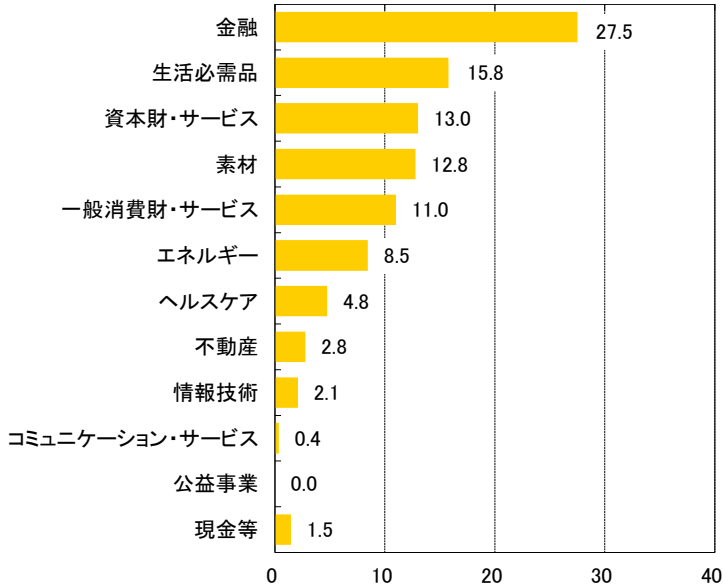
本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

BGF ラテン・アメリカン・ファンド

国別比率 (%) *



業種配分 (%) *



組入上位10銘柄 (%) *

銘柄名	法人登録国	業種	比率
ブラジル石油公社	ブラジル	エネルギー	8.5
グルポ・フィナンシエロ・バノルテ	メキシコ	金融	7.4
ウォルマート・デ・メキシコ	メキシコ	生活必需品	7.3
ブラデスコ銀行	ブラジル	金融	6.5
ヴァーレ	ブラジル	素材	6.4
グルポ・アエロポルチュアリオ・デル・パシフィコ	メキシコ	資本財・サービス	5.0
B3 SA-ブラジル・ボルサ・バルカオン	ブラジル	金融	4.6
イタウ・ウニバンコ・ホールディング	ブラジル	金融	4.0
アンペブ	ブラジル	生活必需品	3.8
ハフビダー・パーティシパソズ・イー・インベストメントズ	ブラジル	ヘルスケア	3.7

* 比率はBGF ラテン・アメリカン・ファンドの純資産総額に対する割合。構成比率(%)の数字は四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

ご参考

主要株式市場のパフォーマンス (%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年
ブラジル ボベスパ指数 (ブラジル・リアルベース)	-3.0	-5.4	-4.1	12.7	-3.3	25.8
メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース)	-2.7	-0.4	2.1	4.6	8.4	29.1

主要為替市場の動き (%)

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年
ブラジル・リアル - 円	-1.7	-0.6	0.5	8.5	43.3	9.6
メキシコ・ペソ - 円	-0.0	4.6	8.3	16.5	67.3	64.0

※一般社団法人投資信託協会が発表している為替レートを_using_しています。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

四半期コメント(2024年3月末時点)

1. 運用経過

国別ではブラジルが最大のマイナス寄与となり、中でも金融とヘルスケア・セクターにおける銘柄選択がマイナス寄与しました。ペルーの非保有も、同国市場が2024年に入って好調なパフォーマンスであったことから、マイナス寄与となりました。一方、パナマの素材セクター及びコロンビアの金融セクターの組入高位がプラス寄与しました。

個別銘柄のマイナス寄与では、ブラジルの銀行ブラデスコが超過収益に最もマイナス寄与しました。収益が目標未達となり、2024年見通しも市場予想を下回ったことが株価の重石となりました。また、ブラジルの病院ネットワークであり保険会社であるハビダーもマイナス寄与となりました。市場は同社の医療費支払率正常化の遅れを懸念しています。また、治療提供の判決が下されているにもかかわらず、患者への治療提供命令に従っていないとの疑惑から同社株は更に下落しました。一方、運用チームとしては、医療費支払率の正常化が進行するという長期的な投資テーマは引き続き有効であると考えています。加えて、ペルーの銅採掘企業サザン・コッパーの非保有もマイナス寄与しました。

個別銘柄のプラス寄与については、パナマの銅採掘企業ファースト・クワンタム・ミネラルズの組入高位が超過収益に最もプラス寄与しました。銅価格の急騰に加えて、同社の財務状況の改善に資することが期待される資本再編案を発表したことによるものです。また、コロンビアの銀行バンコロンビアの組入高位も超過収益にプラス寄与しています。加えて、メキシコで事業を展開する銀採掘企業MAGシルバーも銀価格の上昇が追い風となりプラス寄与しました。

当四半期の投資行動としては、事業の状況が好転しつつあると考え、ブラジルの小売企業ロハス・レナーの組入を引き上げました。また、見通しの変化に基づき、ブラジルの住宅建設及び不動産開発企業であるシラ・ブラジルのポジションの一部を、別のブラジルの住宅建設企業EZテックに入れ替えました。アルゼンチンでは、投資テーマが実現したため、鋼管メーカーのテナリスを全売却しました。また、利益確定のため、コロンビアの金融機関バンコロンビアを一部売却しました。

期末時点では、ブラジルとアルゼンチンを組入高位とした一方、ペルーとメキシコを組入低位としました。セクターでは、一般消費財と資本財を組入高位とした一方、公益事業及びエネルギーを組入低位としました。

2. 市場の見通しおよび今後の運用方針

引き続きラテンアメリカ市場について建設的に見えています。各国中央銀行はインフレ抑制のため積極的に利上げを実施したため、地域全体でインフレ率は大きく低下しています。足元では利下げを開始する中央銀行が見られ始めており、経済活動と資産価格双方の支援材料になるものと思われれます。また、この地域全体が世界の地政学的紛争から相対的に離れていることも追い風となると考えます。これによって、海外からの直接投資及び当地域の投資家による資金配分共に増加する可能性が高いと見えています。

ブラジルはこれらの投資テーマの代表的事例であり、中央銀行は既に利下げを開始しています。政府の財政フレームワークが市場予想よりも一般性の高いものであったため、財政見通しに関する不透明感の縮小につながっており、市場に対するセンチメントを底支えています。国内資本の株式市場への流入が始まることにより、当社では今後12~18ヵ月間において同株式市場の更なる上昇を予想しています。

メキシコ経済についても引き続き建設的に見えています。友好国へのグローバル・サプライチェーン移転によって、最も恩恵を受ける国だと考えられます。また、財政・経常収支の両方が健全であることから、経済ファンダメンタルズの面でのリスクは相対的に低いと考えています。建設的な見通しを維持しているものの、潜在的な米国の経済活動鈍化に対して相関が高いこと、相対的にパフォーマンスが好調であったことなどから一部銘柄について利益確定の売却を行いました。

11月の大統領選で、リバタリアン(自由至上主義)で知られるハビエル・ミレイ氏が予想外に大統領選に勝利したことを受けて、引き続きアルゼンチンの政治・経済状況を注視しています。ミレイ氏は、インフレ上昇、外貨準備高の枯渇、また様々な経済的不均衡といった非常に難しい状況に直面しています。我々は直接現地の経済状況を把握するため1月にアルゼンチンを訪問しましたが、訪問を通じて同国経済に対する警戒的な見方を強めました。

※「2. 市場の見通しおよび今後の運用方針」については、本資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また将来について保証するものではありません。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

委託会社

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第375号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員/日本証券業協会会員/

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

投資信託説明書(交付目論見書)のお問い合わせ、ご請求

販売会社にご請求ください。

※以下の表は原則基準日時時点で委託会社が知りうる限りの情報を基に作成したものです、その正確性、完全性を保証するものではありません。

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
PWM日本証券株式会社 *	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社 (ダイレクトコース) *	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券およびマネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○		○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社SMBC信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入	登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号	○	○		○
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○		○	

*印の販売会社では、新規お申込みを受け付けておりません。

本資料は、当ファンドの理解を深めていただく為の情報提供を目的として、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成したものです。本資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等については当社が保証するものではありません。運用実績・データ等は作成日現在および過去のものであり今後の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市況やポートフォリオの見通し等は、作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境等の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。本資料に記載された基準価額は信託報酬を控除した後の価額、分配金は課税前の金額を使用しております。投資信託は株式・公社債等の値動きのある証券(外貨建ての場合は為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動します。従って元本が保証されているものではありません。ファンドに生じた損益は全て投資家の皆様に帰属いたします。投資信託のお申込みに際しましては、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をご確認の上お客様ご自身でご判断ください。投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

ファンドの特色

1 ラテンアメリカ諸国の株式に投資します。

主として、ラテンアメリカ諸国の株式(同地域において重要な事業展開を行っていると考えられる同地域以外の企業の株式を含みます。)を主要な投資対象とし、ブラックロック・グループの運用会社が運用する投資信託証券に投資します。

ラテンアメリカ主要国のご紹介

ブラジル

首都:ブラジリア

面積:851.2万km²(日本の約22.5倍)

言語:ポルトガル語

主要産業:製造業、鉱業(鉄鉱石他)、
農牧業(砂糖、オレンジ、
コーヒー、大豆他)



BRICSの一角をなす中南米一の大国で、世界最大の日系社会を有しています。豊富な資源と高い食糧生産力を誇ります。

メキシコ

首都:メキシコシティ

面積:196万km²(日本の約5倍)

言語:スペイン語

主要産業:石油、鉱業(銀)、製造業



マヤ、アステカ文明など多彩な世界遺産の宝庫です。日本とは2005年、経済連携協定が締結され、経済関係が緊密化しています。

チリ

首都:サンティアゴ

面積:75.6万km²(日本の約2倍)

言語:スペイン語

主要産業:鉱業、農林水産業、
製造業(食品加工、木材加工)



魚介類やワインなどで知られる自然の豊かな国です。自由貿易を推進しており、日本とは2007年に経済連携協定を締結しました。

ペルー

首都:リマ

面積:129万km²(日本の約3.4倍)

言語:スペイン語

主要産業:製造業、石油・鉱業、
商業、農業、建設業



インカ帝国の中心地として古代文明の遺跡を有しています。また、銀、銅、亜鉛などの鉱物資源にも恵まれています。

出所:外務省データ

2 ファンド・オブ・ファンズ形式による運用を行います。

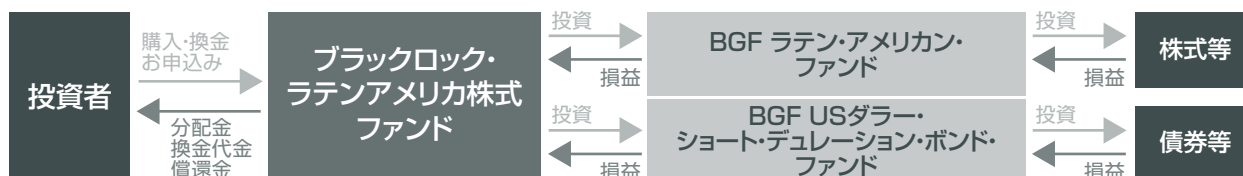
当ファンドは、「BGF ラテン・アメリカン・ファンド*1」および「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド*2」に投資します。

「BGF ラテン・アメリカン・ファンド*1」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。

*1 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ラテン・アメリカン・ファンド クラスJ投資証券」です。

*2 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド クラスX投資証券」です。

※ 投資対象ファンドは、委託会社の判断により適宜見直しを行うことがあります。



3 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

■ 株価変動リスク

当ファンドの投資対象ファンドは、ラテンアメリカ諸国の株式(同地域において重要な事業展開を行っていると考えられる同地域以外の企業の株式を含みます。)を主要投資対象とします。したがって、ラテンアメリカ諸国の経済および市場動向または組入株式の発行会社の経営・財務状況に応じて組入株式の株価および配当金の変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ 為替変動リスク

当ファンドは、外貨建ての投資信託証券を投資対象とします。当該投資信託証券に対して為替ヘッジを行いません。また、当ファンドの投資対象ファンドは、外貨建資産に投資を行います。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ カントリー・リスク

当ファンドの投資対象ファンドは、主としてエマージング(新興)市場の発行体が発行する株式に投資します。エマージング諸国の経済は、先進諸国に比べて不安定であり、その株式市場を取り巻く社会的・経済的環境はより不透明な場合が多く、エマージング諸国の政府は自国経済を規制または監督する上で大きな影響力を行使することがあります。したがって、主として先進国市場に投資する場合に比べて、投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、より大幅に株価が変動することが考えられ、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ 債券投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、債券に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

■ デリバティブ取引のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は現物資産への投資に代わって運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

その他の留意点

- ◆当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ◆流動性リスクに関する事項
当ファンドが保有する資産の市場環境等の状況により、保有有価証券の流動性が低下し、投資者からの換金請求に制約がかかる等のリスク(流動性リスク)があります。当ファンドにおいて流動性リスクが顕在化すると考えられる状況は以下の通りです。
 - ・ 経済全体または個別企業の業績の影響により、株価変動が大きくなるまたは取引量が著しく少なくなる等、株式市場動向が不安定になった場合
 - ・ 投資対象とする特定の地域・国の政治・経済が不安定になり、その影響により投資対象とする資産の市場動向が不安定になった場合
 - ・ 主要投資対象とするファンドの購入・換金に制限がかかった場合※金融商品取引所等における取引の停止時、決済機能の停止時または大口の換金請求については、換金請求に制限がかかる場合があります。
- ◆収益分配金に関する留意点
 - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・ 投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門から独立したリスク管理担当部門においてファンドの投資リスクおよび流動性リスクの計測・分析、投資・流動性制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスク(流動性リスクを含む)が運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	分配金の受取方法により、一般コースと累積投資コースの2つのコースがあります。購入単位および取扱いコースは、販売会社によって異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	1口以上1口単位。換金単位は、販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金代金は原則として、換金受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに受付けたものを当日のお申込みとします。ただし、受付時間は販売会社によって異なることがあります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
換金制限	大口の換金の申込には制限があります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付不可日	ルクセンブルグの銀行の休業日、12月24日、その他投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受けません。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、主要投資対象ファンドの取引停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。
信託期間	無期限(設定日：2006年4月26日)
繰上償還	当ファンドは換金により受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中でも信託を終了(繰上償還)させる場合があります。
決算日	4月1日および10月1日(ただし休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 <累積投資コース>を選択された場合の収益分配金は、税引き後自動的に無手数料で再投資されます。
信託金の限度額	信託金の限度額は、5,000億円とします。
公告	投資者に対してする公告は日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎決算時および償還時に、委託会社が期間中の運用経過のほか信託財産の内容、有価証券売買状況などを記載した「交付運用報告書」を作成し、ご購入いただいた販売会社からあらかじめお申し出いただいた方法にて知れている受益者にお届けいたします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除または益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		(各費用の詳細)	
購入時手数料	購入受付日の翌営業日の基準価額に3.30%(税抜3.00%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額。詳細は販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明、販売に関する事務手続き等の対価	
信託財産留保額	ありません。	—	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		(各費用の詳細)	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対して年1.969%(税抜1.79%)の率を乗じて得た額 ※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※投資対象ファンドにかかる報酬相当額は、委託会社の信託報酬より支払われます。	運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率	
	運用管理費用の配分		
	(委託会社)	年0.968%(税抜0.88%)	ファンドの運用、基準価額の計算、運用報告書等各種書類の作成等の対価
	(販売会社)	年0.968%(税抜0.88%)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
	(受託会社)	年0.033%(税抜0.03%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他の費用・手数料	目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年0.11%(税抜0.10%)を上限として、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等について、その都度、ファンドから支払われます。また、投資対象ファンドに係る保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンドの諸経費: 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息等 ●外貨建資産の保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 	

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。